

## 運用報告書 (全体版)

第3期<決算日 2021年5月17日>

### マシューズ・アジア株式ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投資／海外／株式
信託期間	2018年5月24日から2028年5月15日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	主として、ルクセンブルグ籍外国投資法人「マシューズ・アジア・ファンズ・パシフィック・タイガー・ファンド-I クラスシェア (J P Y) 円建投資証券」(以下「マシューズ・ファンド」といいます。)と「DIAMマネーマザーファンド受益証券」に投資します。
運用方法	主として日本を除くアジア地域に関係する株式 <sup>(※1、※2)</sup> へ実質的に投資を行うことで、長期的な値上り益を獲得することをめざします。 ※1 アジア地域に関係する株式とは、アジアに所在する企業に限らず、アジアの取引所に上場している企業、売上や利益、保有資産などで50%以上をアジア地域が占める企業、またはアジア各国の政府関連企業などを含みます。 ※2 DR (預託証券) もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。 アジア経済の成長の恩恵を受けつつ、景気循環に大きく影響されることなく持続的な収益を生み出すと期待される銘柄を中心に、企業のファンダメンタルズや成長性等を総合的に勘案して投資銘柄を選別しポートフォリオを構築します。 株式の実質的な運用は、マシューズ・インターナショナル・キャピタル・マネジメント・エルエルシーが行います。 マシューズ・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	決算日(毎年5月15日。休業日の場合は翌営業日。)に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

愛称：パシフィック・タイガー

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「マシューズ・アジア株式ファンド」は、2021年5月17日に第3期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

# マシュース・アジア株式ファンド

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資比率	純資産額
	(分配落)	税金 込 配 み 金	期騰 落 率		
(設定日) 2018年5月24日	円 10,000	円 -	% -	% -	百万円 9,178
1期 (2019年5月15日)	9,424	0	△5.8	98.2	18,471
2期 (2020年5月15日)	8,371	0	△11.2	96.3	4,974
3期 (2021年5月17日)	12,794	0	52.8	96.5	3,585

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークを定めておりません。

(注3) 「投資証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

## ■当期中の基準価額の推移

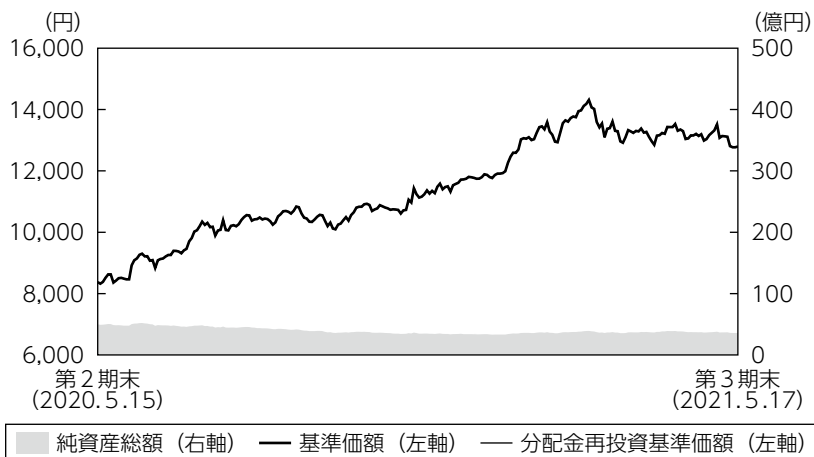
年月日	基準価額		投資比率	純資産額
	騰落率	率		
(期首) 2020年5月15日	円 8,371	% -	% 96.3	
5月末	8,486	1.4	96.9	
6月末	9,313	11.3	97.3	
7月末	10,194	21.8	98.1	
8月末	10,668	27.4	97.1	
9月末	10,281	22.8	97.9	
10月末	10,727	28.1	98.4	
11月末	11,498	37.4	96.3	
12月末	11,988	43.2	96.4	
2021年1月末	12,954	54.7	97.0	
2月末	13,543	61.8	97.9	
3月末	13,235	58.1	97.2	
4月末	13,517	61.5	97.3	
(期末) 2021年5月17日	12,794	52.8	96.5	

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 「投資証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

## ■当期の運用経過（2020年5月16日から2021年5月17日まで）

### 基準価額等の推移



第3期首： 8,371円  
 第3期末： 12,794円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率： 52.8%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

アジア株式市場が大きく上昇し、アジア主要通貨の多くも対円で上昇したことから、基準価額は大幅な上昇となりました。国・地域別では、中国、韓国、台湾、インド、香港などの組入れが基準価額にプラス寄与となりました。業種別では、情報技術、一般消費財・サービス、金融、コミュニケーション・サービス、生活必需品などの組入れがプラス寄与となりました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
マシュエズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア (JPY)	56.2%
D I A Mマネーマザーファンド	△0.1%

(注) マシュエズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア (JPY) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## 投資環境

当期のアジア株式市場は上昇しました。期初、新型コロナウイルスの感染拡大と経済への影響が懸念される中、各国の財政・金融刺激策を受けて上昇傾向となりました。2020年9月以降、米中の緊張感の高まりや米国大統領選挙を前に調整する局面もありましたが、バイデン政権の誕生や、新型コロナウイルスのワクチン実用化による景気回復期待から全面高となりました。期末にかけては、改善する企業業績が下支えする一方、力強い経済成長見通しがインフレ懸念に繋がり、一進一退の展開となりました。

アジア主要通貨の多くは対円で上昇しました。新型コロナウイルスの感染拡大は継続し、米中間の緊張も高まる中、各国の財政・金融刺激策により、世界経済が緩やかに回復傾向を見せたことを受けて、当期半ばにかけて、総じて堅調に推移しました。その後は、米国大統領選挙でのバイデン氏の当選が確実という見方が強まったことや、新型コロナウイルスのワクチン実用化による景気回復期待から、新型コロナウイルスの感染が落ち着いた国の通貨を中心に堅調に推移しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力がかかっていることが要因となりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

マシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア（JPY）の組入比率は高位を維持しました。また、D I A Mマネーマザーファンドへの投資を行いました。

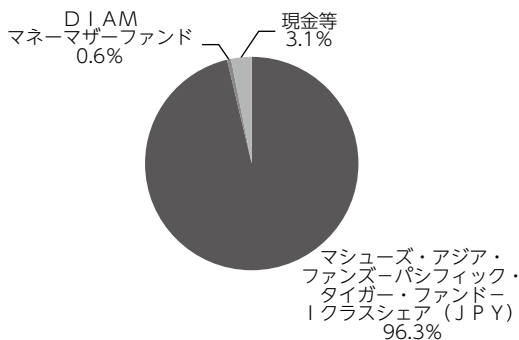
### ●マシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア（JPY）

アジア経済の成長の恩恵を受けつつ、景気循環に大きく影響されることなく持続的な収益を生み出すと期待される銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。セクター別では、内需拡大の恩恵を受ける消費関連、一部の金融セクターの組入れを高めにしました。国別では、インドやフィリピン、インドネシア、ベトナムなど、相対的に高い経済成長が期待できる国の組入れを高めにしました。

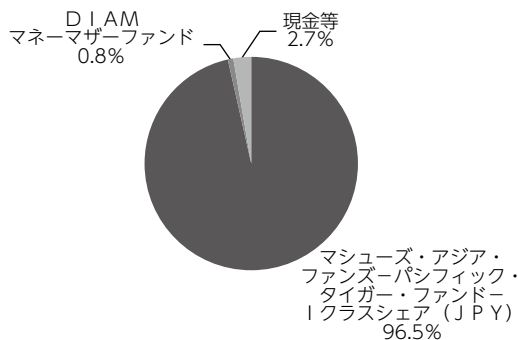
### ●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い国債や政府保証債などで運用を行いました。

**ポートフォリオ構成** ※比率は純資産総額に対する割合です。  
**期首 (前期末)**



**期末**



**分配金**

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**■分配原資の内訳 (1万口当たり)**

項目	当期
	2020年5月16日 ～2021年5月17日
当期分配金 (税引前)	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	2,794円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金 (税引前)」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金 (税引前)」の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益 (含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、マシューズ・アジア・ファンズ・パシフィック・タイガー・ファンドー I クラスシェア (JPY) とDIAMマネーマザーファンドに投資を行い、長期的な値上り益の獲得をめざして運用を行います。

### ●マシューズ・アジア・ファンズ・パシフィック・タイガー・ファンドー I クラスシェア (JPY)

アジア株式市場は、これまでの株価上昇によりバリュエーションも上昇していますが、先進国市場と比較して、依然として割安な水準で取引されています。先行きの企業業績予想についても先進国よりも高い水準で推移し、業績予想の改善が続いています。当ファンドでは、アジア経済の成長の恩恵を受けつつ、景気循環に大きく影響されることなく持続的な収益を生み出すと期待される銘柄を中心に、消費関連や一部の金融セクターの組入れを高めとする方針です。

### ●DIAMマネーマザーファンド

日銀は新型コロナウイルスによる景気落ち込みに対処するため、緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債を中心に投資を行い、安定的な運用をめざしていきます。

## ■1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	(2020年5月16日 ～2021年5月17日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	118円	1.028%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,441円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	( 38)	(0.332)	
(販売会社)	( 76)	(0.664)	
(受託会社)	( 4)	(0.033)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.003 (0.003)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	118	1.031	

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

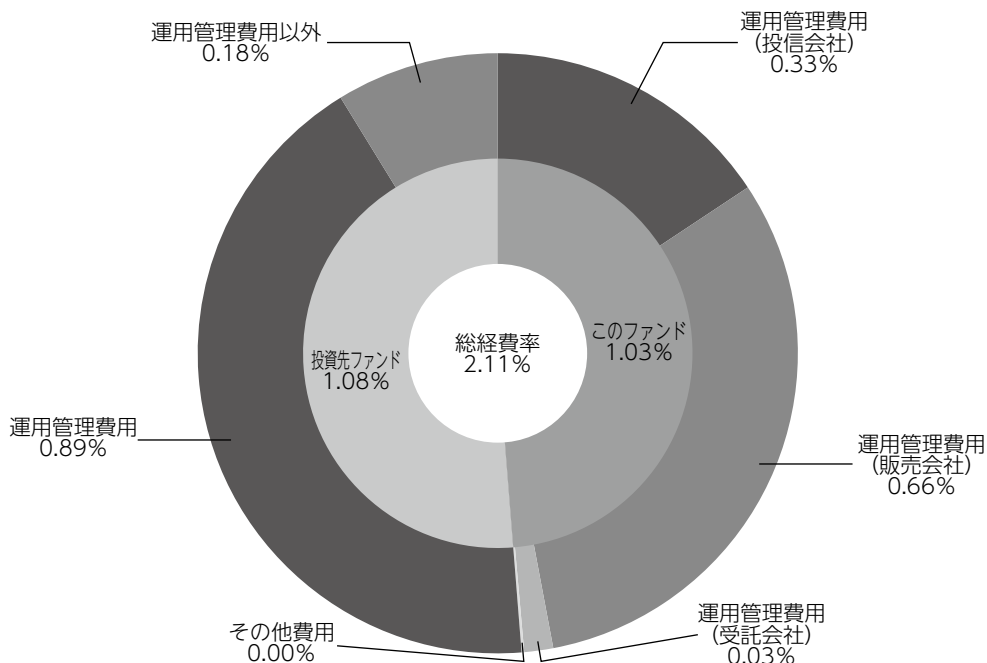
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券 (マザーファンドを除く) が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.11%です。



総経費率 (①+②+③)	2.11%
①このファンドの費用の比率	1.03%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.89%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■売買及び取引の状況 (2020年5月16日から2021年5月17日まで)

### 投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 邦貨 建	マッシュューズ・アジア・ファンズ パシフィック・タイガー・ ファンドー1クラスシェア (JPY)	千口 134.52168	千円 220,000	千口 2,667.87149	千円 3,350,000

(注) 金額は受渡代金です。

## ■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2020年5月16日から2021年5月17日まで)

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

## ■利害関係人との取引状況等 (2020年5月16日から2021年5月17日まで)

### 【マッシュューズ・アジア株式ファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

### 【D I AMマネーマザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 657	百万円 155	% 23.6	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 2.8%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。



## ■組入資産の明細

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
マシューズ・アジア・ファンズ- パシフィック・タイガー・ ファンド-Iクラスシェア (JPY)	4,712.64948	2,179.29967	3,458,504	96.5
合 計	4,712.64948	2,179.29967	3,458,504	96.5

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

### (2) 親投資信託残高

	期 首 (前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
D I A M マ ネ ー マ ザ ー ファ ン ド	29,641	29,641	29,878

## ■投資信託財産の構成

2021年5月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	3,458,504	95.6
D I A M マ ネ ー マ ー フ ァ ン ド	29,878	0.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	128,344	3.5
投 資 信 託 財 産 総 額	3,616,728	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年5月17日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,616,728,107円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	128,344,851
投 資 証 券(評価額)	3,458,504,990
D I A M マ ネ ー マ ー フ ァ ン ド(評価額)	29,878,266
(B) 負 債	31,572,056
未 払 解 約 金	13,102,000
未 払 信 託 報 酬	18,417,280
そ の 他 未 払 費 用	52,776
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	3,585,156,051
元 本	2,802,141,667
次 期 繰 越 損 益 金	783,014,384
(D) 受 益 権 総 口 数	2,802,141,667口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C / D)	12,794円

(注) 期首における元本額は5,943,120,617円、当期中における追加設定元本額は422,452,714円、同解約元本額は3,563,431,664円です。

## ■損益の状況

当期 自2020年5月16日 至2021年5月17日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△27,382円
受 取 利 息	15,820
支 払 利 息	△43,202
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,095,665,455
売 買 益	1,615,656,197
売 買 損	△519,990,742
(C) 信 託 報 酬 等	△40,681,015
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	1,054,957,058
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△387,131,708
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	115,189,034
(配 当 等 相 当 額)	(△26,470)
(売 買 損 益 相 当 額)	(115,215,504)
(G) 合 計(D + E + F)	783,014,384
次 期 繰 越 損 益 金(G)	783,014,384
追 加 信 託 差 損 益 金	115,189,034
(配 当 等 相 当 額)	(△26,155)
(売 買 損 益 相 当 額)	(115,215,189)
分 配 準 備 積 立 金	667,825,350

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	95,949円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	667,729,401
(c) 収 益 調 整 金	115,215,189
(d) 分 配 準 備 積 立 金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	783,040,539
(f) 1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	2,794.44
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	0

## ■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。

## マシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア（JPY）

当ファンドは「マシューズ・アジア株式ファンド」が投資対象とする外国投資証券です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／外国投資証券（円建て）
主要投資対象	日本を除くアジア地域に関係する株式を主要投資対象とします。
投資態度	<p>①主として、日本を除くアジア地域に関係する株式に投資を行うことで、長期的な値上り益を獲得することをめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国A株または中国B株への投資は、原則として各々10%を上限とします。</li> </ul> <p>②アジア地域に関係する株式とは、アジアに所在する企業に限らず、アジアの取引所に上場している企業、売上や利益、保有資産などで50%以上をアジア地域が占める企業、またはアジア各国の政府関連企業などを含みます。</p>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一発行体による有価証券への投資は、原則として純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借入れは行いません。</li> <li>・有価証券の空売りは行いません。</li> </ul>
投資顧問会社	マシューズ・インターナショナル・キャピタル・マネジメント・エルエルシー
管理会社	カーン・グローバル・ファンド・マネージャーズ（ルクセンブルグ）S.A.
管理事務代行会社兼 保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン（ルクセンブルグ）S.C.A

マシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドはルクセンブルグ籍外国投資法人で、2020年3月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は、2020年3月31日現在の財務諸表の原文の一部を翻訳・抜粋したものです。なお、クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト単位（マシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンド）で掲載しています。シリーズ・トラストは複数のクラスで構成されています。

**損益および純資産変動計算書**  
2020年3月31日終了の会計年度

	(米ドル)
<b>期首純資産</b>	<b>1,270,983,619</b>
<b>収益</b>	
受取配当金（外国源泉徴収税控除後）	16,771,701
受取利息（外国源泉徴収税控除後）	400,953
<b>収益合計</b>	<b>17,172,654</b>
<b>費用</b>	
銀行口座の当座貸越利息	13,463
運用報酬および管理事務報酬	9,561,300
所在地事務報酬、事務代行報酬および証券代行業手数料	405,668
専門家報酬	460,780
役員報酬	46,382
保管決済手数料	502,442
Taxe d'abonnement	466,530
取引費用	2,104,409
その他の費用	436,158
<b>費用合計</b>	<b>13,997,132</b>
免除顧問料及び払戻費用	176
<b>正味投資利益／（損失）</b>	<b>3,175,698</b>
投資有価証券売却に係る正味実現利益／（損失）	27,102,941
為替先渡契約に係る正味実現利益／（損失）	2,154
外国為替に係る正味実現利益／（損失）	(535,352)
<b>当期正味実現利益／（損失）</b>	<b>26,569,743</b>
投資有価証券売却に係る評価益／（損失）の正味増減額	(164,056,180)
外国為替に係る評価益／（損失）の正味増減額	817
<b>当期における評価益／（損失）の正味増減額</b>	<b>(164,055,363)</b>
<b>ファンドの運営による純資産増加額／（減少額）</b>	<b>(134,309,922)</b>
払込金	333,397,904
償還金	(952,975,753)
分配金支払い	(768,506)
<b>期末純資産</b>	<b>516,327,342</b>

## 投資有価証券明細書

証券取引所に上場を承認されている譲渡性有価証券および短期金融市場商品

### 株式

銘柄名	株数	時価 (米ドル)	対純資産比率 (%)
<b>中国／香港</b>			
Alibaba Group Holding, Ltd. ADR	184,700	34,958,961	6.77
Tencent Holdings, Ltd.	679,800	33,245,824	6.44
AIA Group, Ltd.	3,010,600	27,126,215	5.25
China Resources Land, Ltd.	6,131,111	25,176,778	4.87
China Resources Beer Holdings Co., Ltd.	4,019,086	18,314,047	3.55
Hong Kong Exchanges & Clearing, Ltd.	504,300	15,163,755	2.94
Ping An Insurance Group Co. of China, Ltd. H Shares	1,411,500	13,795,010	2.67
Inner Mongolia Yili Industrial Group Co., Ltd. A Shares	3,141,375	13,151,856	2.55
Kweichow Moutai Co., Ltd. A Shares	77,120	12,008,602	2.32
China East Education Holdings, Ltd.	5,592,000	9,015,286	1.75
Guotai Junan Securities Co., Ltd. H Shares	6,051,600	8,977,807	1.74
Fuyao Glass Industry Group Co., Ltd. H Shares	3,899,200	8,313,004	1.61
Wuxi Biologics Cayman, Inc.	541,500	6,774,556	1.31
China International Travel Service Corp., Ltd. A Shares	714,799	6,723,579	1.30
Jiangsu Hengrui Medicine Co., Ltd. A Shares	488,157	6,303,754	1.22
Midea Group Co., Ltd. A Shares	913,100	6,200,316	1.20
ENN Energy Holdings, Ltd.	575,000	5,555,401	1.08
Topsports International Holdings, Ltd.	4,996,000	5,232,257	1.01
Tencent Music Entertainment Group ADR	543,700	5,223,490	1.01
		<b>261,260,498</b>	<b>50.59</b>
<b>韓国</b>			
Samsung Electronics Co., Ltd.	687,817	26,899,423	5.21
Naver Corp.	119,462	16,682,581	3.23
LEENO Industrial, Inc.	74,796	4,592,003	0.89
Orion Holdings Corp.	303,140	2,989,085	0.58
Hugel, Inc.	10,818	2,984,990	0.58
Koh Young Technology, Inc.	45,000	2,857,037	0.55
Cheil Worldwide, Inc.	208,454	2,712,596	0.52
Hanon Systems	360,890	2,624,795	0.51
NCSOFT Corp.	1,800	960,595	0.19
		<b>63,303,105</b>	<b>12.26</b>
<b>インド</b>			
HDFC Bank, Ltd.	978,512	11,148,256	2.16
Housing Development Finance Corp., Ltd.	473,590	10,223,490	1.98
Kotak Mahindra Bank, Ltd.	574,388	9,840,361	1.91
Titan Co., Ltd. F Shares	643,988	7,948,204	1.54
The Tata Power Co., Ltd.	1,437,231	7,571,759	1.47
Container Corp. of India, Ltd.	1,677,046	7,352,057	1.42
Dabur India, Ltd.	1,207,540	7,183,667	1.39
		<b>61,267,794</b>	<b>11.87</b>
<b>インドネシア</b>			
PT Bank Central Asia	6,215,600	10,493,150	2.03
PT Indofood CBP Sukses Makmur	13,376,800	8,386,373	1.62
PT Telekomunikasi Indonesia Persero	37,564,200	7,257,018	1.41
PT Mitra Keluarga Karyasehat	33,644,900	4,435,103	0.86
PT Surya Citra Media	82,027,900	3,873,655	0.75
		<b>34,445,299</b>	<b>6.67</b>
<b>台湾</b>			
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	1,145,000	10,370,576	2.01
President Chain Store Corp.	935,000	8,746,293	1.69
Delta Electronics, Inc.	1,438,032	5,728,215	1.11
Realtek Semiconductor Corp.	240,000	1,733,408	0.34
		<b>26,578,492</b>	<b>5.15</b>

銘柄名	株数	時価 (米ドル)	対純資産比率 (%)
<b>フィリピン</b>			
SM Prime Holdings, Inc.	15,029,575	8,389,603	1.62
GT Capital Holdings, Inc.	1,036,120	8,291,405	1.61
		<b>16,681,008</b>	<b>3.23</b>
<b>スイス</b>			
DKSH Holding AG	201,102	9,856,350	1.91
		<b>9,856,350</b>	<b>1.91</b>
<b>タイ</b>			
Central Pattana Public Co., Ltd. F Shares	6,794,600	8,813,206	1.71
		<b>8,813,206</b>	<b>1.71</b>
<b>マレーシア</b>			
IHH Healthcare BHD	6,851,600	8,161,399	1.58
IHH Healthcare BHD	126,000	152,605	0.03
		<b>8,314,004</b>	<b>1.61</b>
<b>ベトナム</b>			
Vietnam Dairy Products JSC	1,898,992	7,288,035	1.41
		<b>7,288,035</b>	<b>1.41</b>
<b>米国</b>			
Yum China Holdings, Inc.	127,800	5,352,238	1.04
		<b>5,352,238</b>	<b>1.04</b>
<b>株式合計</b>		<b>503,160,029</b>	<b>97.45</b>
<b>証券取引所に上場を承認されている譲渡性有価証券および短期金融市場商品合計</b>		<b>503,160,029</b>	<b>97.45</b>
<b>投資有価証券合計</b>		<b>503,160,029</b>	<b>97.45</b>
<b>負債控除後の現金およびその他資産</b>		<b>13,167,313</b>	<b>2.55</b>
<b>純資産総額</b>		<b>516,327,342</b>	<b>100.00</b>

A Shares：中国A株。上海・香港・ストック・コネクト・プログラムや深セン・香港・ストック・コネクト・プログラムを通じて売買される

ADR：米国預託証券

BHD：公開会社を意味するブルハド (Berhad) の略

F Shares：フォーリン株 (F株)

H Shares：H株。中国本土で登記を行い、香港証券取引所に上場する本土企業の株式

	発行済受益権口数	1口当たり純資産価額 (*)
I Acc (U S D)	23,215,235	15.11
I Dist (U S D)	592,011	9.11
A Acc (U S D)	1,146,866	13.77
I Acc (G B P)	2,834,215	18.43
I Dist (G B P)	1,562,463	12.47
A Acc (G B P)	47,701	17.51
I Acc (E U R)	500	8.28
I Acc (J P Y)	6,180,321	962.43

\*各シェアクラスの通貨単位

※マシュエズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドは複数のクラスで構成されています。

上記クラスのI Acc (J P Y) は、マシュエズ・アジア株式ファンドが投資するクラスです。

# D I A M マネーマザーファンド

## 運用報告書

第12期（決算日 2021年4月5日）

（計算期間 2020年4月7日～2021年4月5日）

D I A M マネーマザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

### ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)	債券先物比率	純資産総額
	期騰	期中落率				
8期(2017年4月5日)	円	%	%	%	%	百万円 1,045
9期(2018年4月5日)	10,104	0.1	71.2	—	—	1,030
10期(2019年4月5日)	10,099	△0.0	71.1	—	—	16,167
11期(2020年4月6日)	10,098	△0.0	79.4	—	—	1,139
12期(2021年4月5日)	10,089	△0.1	69.3	—	—	1,064
	10,080	△0.1	62.4	—	—	

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。



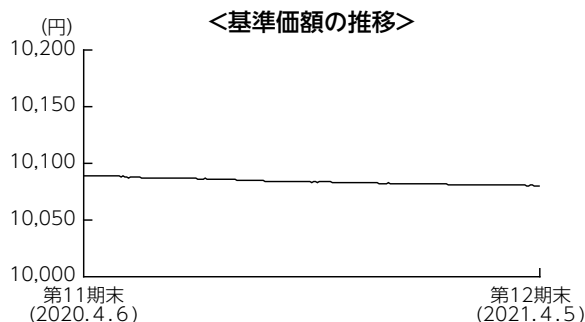
## ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	新 株 予 約 権 付 社 債 ( 転 換 社 債 ) 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率			
(期 首) 2020年 4 月 6 日	10,089	% -	% 69.3	% -	% -
4 月 末	10,089	0.0	71.1	-	-
5 月 末	10,087	△0.0	89.9	-	-
6 月 末	10,087	△0.0	62.3	-	-
7 月 末	10,086	△0.0	77.8	-	-
8 月 末	10,084	△0.0	74.4	-	-
9 月 末	10,084	△0.0	63.2	-	-
10 月 末	10,083	△0.1	63.2	-	-
11 月 末	10,082	△0.1	64.0	-	-
12 月 末	10,082	△0.1	64.0	-	-
2021年 1 月 末	10,081	△0.1	63.9	-	-
2 月 末	10,081	△0.1	63.9	-	-
3 月 末	10,080	△0.1	62.4	-	-
(期 末) 2021年 4 月 5 日	10,080	△0.1	62.4	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

## ■当期の運用経過（2020年4月7日から2021年4月5日まで）



### 基準価額の推移

当期末の基準価額は10,080円となり、前期末比で0.09%下落しました。

### 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざした運用を行いました。日銀のマイナス金利政策の影響が大きく基準価額は前期末比で下落して期末を迎えました。

## 投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。新型コロナウイルスへの影響に対する経済の下支えもあり、日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力がかかっていることなどが要因となりました。

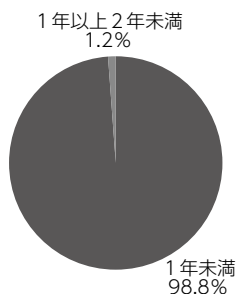
## ポートフォリオについて

残存期間の短い国債や政府保証債、地方債などで運用を行いました。

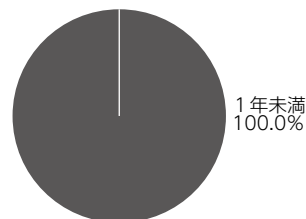
【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

### ○残存年限別構成比

期首（前期末）



当期末



## 今後の運用方針

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保をめざします。市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

## ■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

## ■ 売買及び取引の状況 (2020年4月7日から2021年4月5日まで)

### 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	内		
	国債証券	400,802	(700,000)
	地方債証券	—	(43,470)
	特殊債証券	460,461	(236,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2020年4月7日から2021年4月5日まで)

### 期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 861	百万円 359	% 41.7	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

## ■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	400,000	400,342	37.6	—	—	—	37.6
特 殊 債 券	263,000	264,140	24.8	—	—	—	24.8
合 計	663,000	664,482	62.4	—	—	—	62.4

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>(国債証券)</b>	%	千円	千円	
4 0 2 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,088	2021/07/01
4 0 7 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,254	2021/12/01
小 計	—	400,000	400,342	—
<b>(特殊債券)</b>	%	千円	千円	
1 3 3 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	5,000	5,004	2021/04/30
1 3 7 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.2000	4,000	4,011	2021/06/30
2 7 回 政保地方公共団体金融機構債券	1.0000	154,000	154,552	2021/08/13
1 4 7 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.0000	100,000	100,572	2021/10/29
小 計	—	263,000	264,140	—
合 計	—	663,000	664,482	—

## ■投資信託財産の構成

2021年4月5日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率		
公 社 債	千円	%	664,482	62.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他			400,021	37.6
投 資 信 託 財 産 総 額			1,064,503	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年4月5日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,064,503,858円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	399,647,437
公 社 債(評価額)	664,482,620
未 収 利 息	319,007
前 払 費 用	54,794
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,064,503,858
元 本	1,056,034,563
次 期 繰 越 損 益 金	8,469,295
(D) 受 益 権 総 口 数	1,056,034,563口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,080円

(注1) 期首元本額 1,129,674,818円  
追加設定元本額 713,862円  
一部解約元本額 74,354,117円

(注2) 期末における元本の内訳

クルーズコントロール	990,000,991円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円
ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型	103,986円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 資産通貨バスケットコース	4,486,988円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド ブラジルレアルコース	4,586,699円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 円コース	997,109円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円
DIAM-ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金>	9,935円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 円コース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 米ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 豪ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) メキシコペソコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) トルコリラコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) ブラジルレアルコース	9,925円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジあり	9,924円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジなし	9,924円
マシユーズ・アジア株式ファンド	29,641,137円
One世界分散セレクト (Aコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Bコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Cコース)	99,040円
世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)	99,109円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	188,380円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	109,063円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジあり)	297,442円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジなし)	118,977円
リスクコントロール型ETF分散投資ファンド (適格機関投資家限定)	9,881,322円
期末元本合計	1,056,034,563円

## ■損益の状況

当期 自2020年4月7日 至2021年4月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	5,639,477円
受 取 利 息	5,777,516
支 払 利 息	△138,039
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△6,625,182
売 買 益	5,382
売 買 損	△6,630,564
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△985,705
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	10,094,745
(E) 解 約 差 損 益 金	△645,883
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	6,138
(G) 合 計(C+D+E+F)	8,469,295
次 期 繰 越 損 益 金(G)	8,469,295

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。  
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。